●自園において体育遊び指導者を育てる●

# 外あそび体育指導法

## 管理職者対象 公開講座

# 研修講演会

安田祐治先生の75年以上にわたる体育遊び指導法と
指導技法の公開講座「研修講演会」を行います。
園長先生、主任先生、管理職の先生方に是非ご参加頂き、
自園での体育遊びの充実に活かして頂きたく
ご案内させて頂きます。

- 日　時　平成29年1月11日(水)
  午後1時30分～4時30分
- 会　場　香川県社会福祉総合センター
  7階　大会議室
  高松市番町1-10-35
- 研修費　無料　(研修教材費　2,000円)
- 1園につき3名まで参加可能

※定員になり次第締め切らせていただきます。

主催　公益財団法人 外あそび体育遊具協会

## 子供達の豊かな遊びを復活させる為に

安田祐治先生が75年以上に渡り研究してこられた体育遊びは、極めて総合的な要素を含んでいます。子供の遊びは実に複合的で、遊びを通じてさまざまな体験をし、同時にいろいろなことを学べるようになっています。遊びの中で創造的な体験をしたり、人とのふれあいの中で、ちょっとしたいさかいや、けんかなども体験し、社会のルール等も自然に習得したりします。順番待ち、譲り合い、チームワークの疑似体験、役割分担、責任感の醸成といったかなり高度な社会ルールすら、自然と身につけていく。このような要素をあらゆる遊びに盛り込んだ指導案指導法の公開です。

子供達が安心して力一杯遊べる地域の空間が少なくなり、この20年で半減し、昭和30年代と比較すると、何と20分の1以下です。幼稚園保育園の園庭の外遊びの経験はますます大切な時代になっております。ご察しの様に、幼児期の遊びが貧弱になり、遊びを通して自然に得ていた成長のバランスが、くずれ出しています。小学生に至ってはちょっと転んだだけで受身動作が取れず、前歯や鼻骨を折る子供がいる。ボールが飛んできても、とっさに距離感がつかめずによけられない子供もかなりいます。

近頃は体温調節のできない子供も増えつつあるというのです。午前中の検温で36度を切るという、体温の低い子供が多いわりに、午後になると37度を越える子供が約三割に達し、中には一日に2度近くも体温変動する子供もいるという。体温調節がうまくできないと、運動中に熱が上がり過ぎて、「熱中症」になる。そういうケースも続出している現状もあります。

子供達が体を動かして力一杯遊んでいれば、こんな問題は起きないのです。公益財団法人外あそび体育遊具協会は、安田祐治先生の75年に及ぶ学習指導法、体育遊び・運動遊び、体育用具施設等の研究・実践を通じて培われた体育遊び指導法を公開し、ひろく普及させることを事業理念としています。公開講座に是非ともご参加頂き、日本の子供達の充実した遊びの環境を取り戻す為にも共に学びにご参加頂ければ幸いです。一人でも多くの日本の子供達が充実した幼少期を過ごし、たくましく元気に成長してくれる事を心から願い、ご案内させて頂きます。

公益財団法人 外あそび体育遊具協会　理事長 吉川静雄

●自園において体育遊び指導者を育てる●

# 外あそび体育指導法
# 管理職者対象 公開講座
# 研修講演会

午後１時30分～２時

## 「安田祐治先生の
## 体育遊び指導法と体育遊び遊具について」

公益財団法人外あそび体育遊具協会　理事長　吉川静雄

午後２時～４時30分

子供の心身の健全な発育・発達を促す

## 「体育遊び指導法：指導技法とその運用」

- □脳と体を健全に育てる幼少年期の体育遊び
- □保育者の体育遊び指導力向上の為の指導案とその運用について
- □各地の体育遊びの実践映像について
- □子供の発達過程に即した体育遊びの展開について
- □保護者、地域との相互理解と発信方法について

公益財団法人外あそび体育遊具協会　公認講師　杉島秀政

外あそび体育指導者「初級」「中級」「上級」研修講座認定講師

●自園において体育遊び指導者を育てる●

# 外あそび体育指導法 管理職者対象 公開講座 研修講演会

● 平成29年1月11日(水)
午後1時30分～4時30分

● 香川県社会福祉総合センター
7階　大会議室
高松市番町1-10-35
公益財団法人かがわ健康福祉機構
Tel.087-835-3334

アクセス
・JR高松駅より　徒歩約15分
・ことでん瓦町駅より　徒歩約10分
・高松空港より
空港直行連絡特急バス(リムジンバス)約35分

※ 地下有料駐車場　約55台収容可能 (25分 100円)

● 研修費　無料／研修教材費 2,000円
(脳と体を健全に育てる幼少年期の体育遊び 20p／楽しい体育遊びの指導法：指導案の実際 16p／指導の手立て：テキストシート 24p)

## 安田祐治：やすだゆうじ

公益財団法人外あそび体育遊具協会にて
永年培った体育・運動遊びの指導法を公開し、
その普及に努めている。

■著作
◎「現代学校体育大事典(共著)」
◎「幼児の健康と体育あそび」
◎「楽しく泳ごう」
◎「楽しく遊ぼう」
◎「子どもの遊びスポーツ百科(共著)」
◎「体育遊び200選」
◎「楽しい運動あそび」
◎「楽しい体育あそび」
◎幼児上級・小学生向「楽しい体育あそび」
◎「体育遊びの指導法 指導技法とその運用」
■論文
◎「子どもの遊びを生かした学校体育指導」
◎「子どもに即した遊具の工夫　その1～その6」
◎「自然環境を生かした学校体育施設」
◎「児童遊具施設についてー遊びをつくる施設をー」
◎「事故防止のための実践的研究ー道具設計と点検法ー」

■体育施設遊具の考案設計
◎幼稚園・保育園 1600余園に納入設置
◎小学校300余校に納入設置
◎プール設計50余校
■学会発表
◎日本体育学会、京都体育学会等
◎「学校遊具・公園遊具について」
◎「現代っ子に遊びを」
◎「総合体育道具の開発と遊びの発展」
◎「学校及び公園の体育施設・道具について」
■海外研究
◎「ジムナストラーダ視察研究／スイス」
◎「ドイツゴールドプラン視察研究／西ドイツ」
◎「ヨーロッパ体育施設研修
／イタリア、フランス、イギリス、デンマーク」
◎「大学・自治体の体育施設研究／アメリカ、カナダ」
■競技歴
◎全日本中等学校器械体操選手権大会
団体優勝　個人吊輪2位
◎日独交歓京都大会体操競技の部個人優勝
◎第2回～17回国民体育大会選手兼監督として出場


**公益財団法人 外あそび体育遊具協会**
〒616-8191　京都市右京区太秦中山町2番地2　Tel 075-461-3771　Fax 075-461-3772
E-mail　contact@soto-asobi.jp　　URL　http://www.soto-asobi.jp

●自園において体育あそび指導者を育てる●

# 外あそび体育指導法

## 管理職者対象 公開講座 [研修講演会] 高松会場

**平成 29 年 1 月 11 日 (水) ／ 香川県社会福祉総合センター7 階大会議室**

外あそび体育指導法 管理職者対象公開講座[研修講演会]に**申し込みます。**

平成28年　　月　　日

| | |
|---|---|
| ●申込者　　名<br>●申込者氏名（ふりがな）<br><br>●役職 | ●申込者氏名（ふりがな）<br>●役職<br>●申込者氏名（ふりがな）<br>●役職 |
| ●施設名 | |
| ●住所　〒　　－ | |
| ●電話 | ●FAX |

■申込み締切日　平成28年12月30日（金）　　※定員になり次第締め切らせていただきます。

申込みFAX　075-461-3772　　公益財団法人 外あそび体育遊具協会

**アンケートにお答えください。　当日出来る限りお答えしたいと考えております。**

①体育遊び活動は、□主に担任が行っている。□外部体育指導員が行っている。
□週１以上　□月１以上　□年数回　□その他（　　）

②園庭遊具で子供達は日常的に全員が群がってよく遊んでいますか。
□自由時間には常に群れている　□そうでもない　□担任が設定してようやく遊ぶ

③卒園までに達成目標にしている運動はありますか。
□登り棒　□竹馬　□一輪車　□跳び箱（　）段　□鉄棒逆上がり　□側転　□逆立ち
□かけっこの速さ　□その他（　　）

④子供の擦り傷やたんこぶなど小さな怪我に対する、保護者の理解はいかかがですか。
□過剰な反応をする親が多い（　　%）　□概ね寛大
□かけっこの速さ　□その他（　　）

⑤園児の体力低下・判断力低下は気になりますか。
□非常に気になる　□少し気になる　□まったく気にならない

※体育遊びに関するご質問等ございましたら、ご記入ください。